

クリエイティブテクノロジーの環境目標と環境活動についてご紹介いたします。

### クリエイティブテクノロジーの環境目標(2013 年度)

有機溶剤  
廃液量  
3%削減

消費電力  
3%削減

環境に配  
慮した製品  
の開発

コピー用紙  
購入量  
3%削減

資源の  
有効利用  
(3R 活動)

#### 有機溶剤廃液量削減に向けた取り組みとその結果

わが社では、有機溶剤の廃液量を削減するため、有機溶剤のリサイクル利用を積極的に行っています。製品に影響を与えない工程で使用する有機溶剤をリサイクル利用したり、製品の体積に合った容器で洗浄を行ったりすることで、2012 年度は購入量の大幅な削減を達成しました。2013 年度は出荷台数の増加もあり、廃液量の削減は達成することができず、前年度維持に留まりました。残念ながら、廃液量の削減は未達成となりましたが、製品 1 台あたりに使われる有機溶剤の使用率は削減できており、有機溶剤の最小限利用は行えているものと考えております。

#### 消費電力削減に向けた取り組みとその結果

クリーンルーム設備を所有するわが社では、夏場の電力消費量削減が大きな課題となっています。2012 年度は基本に戻って、①ピークカット、②室外機の定期的なメンテナンス、③クールビズ、ウォームビズの呼びかけ、を行った結果、2011 年度と比較してマイナス 7.4%の大幅な削減に成功しました。

しかし、2013 年度は設備を増加したこと、猛暑がつづく夏期に生産が集中したことが理由で、電力使用量は増加し、残念ながら未達成という結果になりました。猛暑や異常気象はもはや当たり前になっており、こういった悪条件の中でも、ムダなく効果的に生産を行うことを課題に、日々の生産活動に取り組んでおります。

#### 環境負荷の削減に貢献する製品の開発

わが社は、人と自然が共存できる豊かな社会づくりを基本理念としています。Long Life、再生可能であることを設計段階から考慮し、環境に配慮した製品およびサービスの提供を行っております。我々の技術の結晶は、国際見本市で展示を行い、毎年、多くの方々からご好評を頂いております。

#### コピー用紙購入量削減に向けた取り組みとその結果

2012 年度は、前年度比プラス 8.7%と購入量が大幅に増加しました。2013 年度は、紙ベースの管理から電子データでの管理へ移行したり、数ページにわたる検査成績書の提出から合格シールへの切り替えを行ったりした結果、2012 年度比マイナス 17.5%の大幅な削減を達成することができました。検査成績書から合格シールへの切り替えは、わが社の製品が信頼されている証であると自負しております。

#### 資源の有効利用(3R 活動)

2012 年度の3R活動は、主にリサイクルや遊休設備の活用が主な活動内容でした。2013 年度は、様々な角度から提案が行われるよう、全社をあげて活動を奨励したことで、多くの提案がなされました。2012 年度と異なる点は、3R+業務効率化を意識した提案が多くあったことで、人と自然が共存できる豊かな社会づくりという経営理念が、従業員に浸透している結果の表れであると考えております。

以上